

第九部 わざわいの書

(原題：ヒゼキヤ王治世第 14 年の危機に瀕しての宣告)

イザヤ 28 章～35 章

□ 第九部のアウトライン

わざわいだ (6 回)

A) アリエルの苦難	28～29 章	28 : 1、29 : 1、29 : 15
B) エジプトとの同盟に対する警告	30～31 章	30 : 1、31 : 1
C) 正義の王による統治	32 章	
D) イスラエルの避難	33 章	33 : 1
E) 諸国民に対する神の怒り	34 章	
F) イスラエルの回復	35 章	

□ 「D」 イスラエルの避難」のアウトライン (イザヤ 33 章)

1. わざわいだ **あの破壊者は** (33 : 1)・・・「あの破壊者」とは、A) で警告された「死とよみの契約」の相手方、大患難期に登場する**反キリスト**
2. **レムナント**の祈りと神の応答 (33 : 2～6)
3. **反キリスト**による攻撃を受けるときの国家と民族の状態 (33 : 7～16)
4. 回復のときの民族と国家の状態 (33 : 17～24)

わざわいだと言われる 6 回のうち、ここだけがイスラエルに向けてではなく、異邦人預言の中での「あなた」が、その異邦人である反キリストか、イスラエルか、注意を

イスラエルの避難 (33 章)

1. わざわいだ **あの破壊者は** (33 : 1)

1 節 a わざわいだ。自分は踏みにじられなかったのに、人を踏みにじり、裏切られなかったのに、人を裏切るあなたは。

- 原文はもっと直球。直訳すると、「**わざわいだ、あの破壊者は**。おまえは破壊されなかったのに。裏切者、おまえは裏切られなかったのに」
- 人を踏みにじり、人を裏切るあなた・・・大患難期後半に世界を支配する人物＝反キリスト。28 章 18 節で預言されたように、反キリストはイスラエルを裏切って同盟条約を破棄し、イスラエルを踏みにじる。

1 節 b 自分が踏みにじることを終えるとき、あなたは踏みにじられ、裏切りをやめるとき、あなたは裏切られる。

- 終えるとき、やめるとき・・・反キリストの支配にも終止符が打たれる時が来る。メシアの再臨によってである。
- あなたは裏切られる・・・裏切るのはサタンである。反キリストはサタンによって立てられ、自分は勝利すると確信するが、それは偽りである。

2. レムナントの祈りと神の応答 (33 : 2~6)

レムナント (イスラエルの信仰ある残りの者たち) の祈り (2 節)

2 節 主よ、あわれんでください。私たちはあなたを待ち望みます。朝ごとに私たちの腕となり、苦難の時の、私たちの救いとなってください。

- 日本語聖書 (新改訳 2017) では、2~3 節を信者の祈りとして訳しているが、3 節は、神の側からの応答である。
- 苦難の時・・・大患難期、特にその後半の 3 年半は、イスラエル民族にとって大変な苦難の時である (ダニ 12 : 1 「国が始まって以来その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る」)
- この祈りは、大患難期におけるレムナント (イスラエルの信仰ある残りの者たち) の祈りである。

神の応答 (3~6 節)

3 節 その鳴りとどろく声に、もろもろの民は逃げ、あなたが立ち上がると、国々は散らされる。

- あなたが立ち上がると・・・「あなた」とはレムナント。「立ち上がると」とは、レムナントがイエスをメシアとして認め、メシアに帰って来てくださいと天に向って願い祈るときを指す。
- もろもろの民、国々・・・エルサレムを攻撃し、さらにレムナントの避難先のボツラにまで進軍して来る諸国の連合軍。反キリストが率いる。

4 節 あなたがたの分捕り物は、いなごの若虫が集まるように集められ、いなごの群れが飛びつくように人々はそれに飛びつく。

- あなたがたの分捕り物・・・「あなたがた」=イスラエル、「分捕り物」=反キリスト軍。反キリスト軍はイスラエルを獲物のように狙って進撃してくるが、彼ら自身がイスラエルの分捕り物となってしまう。
- いなごの若虫・・・ヘブル語で「ハーシール」、発育中のいなご。いなごの若虫がその食物に集まるように、反キリスト軍がイスラエルの民が避難しているところ (ボツラ) に集められる。
- いなごの群れ・・・ヘブル語で「ゲーブ」、大群で襲いかかるいなごの成虫。すべての青い物を食い尽くす恐ろしさを連想させるので、刑罰や戦争のシンボル。旧約聖書の中で、ゲーブが使われるのは、ここだけ。
- 人々はそれに飛びつく・・・訳によっては「**彼はそれに飛びつく**」。「それ」とは、「あなたがたの分捕り物」、すなわち、反キリスト軍である。反キリスト軍を攻撃するのは再臨のメシアであるから、「**彼**」とは**メシア**を指すと

考えられる。再臨のメシアが反キリスト軍を攻撃するさまは、まるでいながの大群が一団となって草木に飛びかかるようである。

5～6 節 主はいと高き方で、高い所に住み、シオンを公正と義で満たされる。主はあなたの時を堅く支え、救いと知恵と知識の富となられる。主を恐れることは、その（あなたの）財宝である。

- 神の応答は、反キリスト軍の壊滅で終わらず、大患難期の終了後、来るべきメシアの王国における約束に及ぶ。
- あなたの時、あなたの財宝・・・「あなた」とは、イスラエルの民。その全員が、信仰によって救われた者たちである。「あなたの時」とは、メシアの王国の時代
- シオンを公正と義で満たされる・・・メシアの王国の都エルサレムは、世界を公正と正義によって統治する
- 救いの富・・・メシア王国に入る最初の世代は、イスラエルも諸国民も、皆が救われた信仰者。彼らの第二世代以降は、100 歳までに信じないならば、死ぬことになる。イスラエルの民の第二世代以降は、子どものうちから全員が信仰をもち、救われる。救いが豊かに与えられるのである。イスラエルの中では、死ぬ者は一人もいない。
- 知恵と知識の富・・・イスラエルの民が第二世代以降もすべて救われ、子どもでも神を信じることができるのは、神についての知恵と知識が豊かに与えられるためである。
 - 彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで （こどもから大人まで）、わたしを知るようになるからだ — 主のことば — 。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。」（エレ 31：34）
- 主を恐れることは、あなたの財宝である・・・金銀は財宝ではない。真の財宝は、主を恐れることである。

主を恐れることは知識の初め。 （箴言 1：7）

結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。 （伝道 12：13）

3. 反キリストによる攻撃を受けるときの国家と民族の状態 (33 : 7~16)

イスラエルの荒廃

7~9 節 見よ。彼らの勇士は通りで叫び、平和の使者たちは激しく泣く。大路は荒れ果てて、道行く者は途絶え、契約は破られて、町々は捨てられ、人は顧みられないことがない。地は喪に服してしおれ、レバノンは辱しめを受けて枯れ果てる。シャロンは荒れ野のようになり、バシヤンもカルメルも葉を振り落とす。

- 彼らの勇士・・・イスラエルの兵士たち
- 大路は荒れ果てて・・・ハイウェイは通行不能となる
- 契約は破られて・・・イスラエルと反キリストとの同盟条約は破棄されて
- 町々は捨てられ・・・イスラエルの町々は破壊される
- レバノン・・・約束の地の北境、約束の地に含まれる (申 1 : 7)。肥沃な地で産物も豊か。杉の木で有名な森林地帯もある。
- シャロン・・・地中海沿岸のヨッパ (ヤファ) 以北、カルメル山以南の南北 50 キロ、東西 10~20 キロの平原。イスラエルでも一、二を争う肥沃な地である。特に春の百花繚乱の景色は美しさの代名詞のようにされ、その美しさは、カルメル、バシヤン、レバノンと比較される。(出典 いのちのことば社「聖書辞典」)

しかし、イスラエルを荒廃させた諸国軍は短時間で壊滅する

10~12 節 「今、わたしは立ち上がる。― 主は言われる ― 今、わたしは自らを高く上げ、今、わたしは自らを高める。あなたがたは枯れ草をはらみ、藁を産む。あなたがたの息は、自分たちを食い尽くす火だ。諸国の民は焼かれて石灰となり、刈り取られて火をつけられる茨となる。」

- あなたがた、諸国の民・・・反キリスト軍
- 枯れ草をはらみ、藁を産む、息は自分たちを食い尽くす火・・・反キリスト軍がイスラエルを攻撃することは、アブラハム契約の条項「イスラエルを呪う者は、主がこれを呪う」(創 12 : 3) に該当する。
- 刈り取られて火をつけられる茨・・・火をつけられると一瞬で燃え尽きる。反キリスト軍は再臨のメシアによって、再臨のその日のうちに壊滅する。

イスラエル民族のうちの不信者に対する主の警告、彼らの嘆き

13~14 節 「遠くの者よ、わたしのしたことを聞け。近くの者よ、わたしの力あるわざを知れ。」罪人たちはシオンでわななき、神を敬わない者たちを震えがとらえる。「私たちのうち、だれが焼き尽くす火に耐えられるか。私たちのうち、だれが、とこしえに燃える炉に耐えられるか。」

- 焼き尽くす火、とこしえに燃える炉・・・大患難期の火によるさばき。
Ⅱ ペテロ 3 : 7 しかし、今ある天と地は、同じみことばによって、火で焼かれるために取っておかれ、不敬虔な者たちのさばきと滅びの日まで保たれているのです。

イスラエル民族のうち、レムナント（信仰ある残りの者たち）は要害の地に避難

15～16 節 義を行う者、公正を語る者、強奪による利得を退ける者、手を振って賄賂を受け取らない者、耳をふさいで流血について聞かない者、目を閉じて悪いことを見ない者。このような人は高い所に住み、その砦は岩場の上の要害である。彼のパンは備えられ、彼の水は確保される。

- 義を行う者、公正を語る者、強奪による利得を退ける者、手を振って賄賂を受け取らない者、耳をふさいで流血について聞かない者、目を閉じて悪いことを見ない者・・・ここに書かれているのは、義人の霊的特徴。【要害の地に避難することのできるイスラエルの人々は、避難時点でこういう霊的特徴を備えた人だけ】と誤解してはならない。たしかに避難するイスラエルの人々は、イスラエルの神を恐れ、神の救いを待ち望む人々、レムナントである。しかし、避難時点ではイエスをメシアとして認めておらず、まだ救いを受けていない。義人としての霊的特徴を現すことができるのは、イエスをメシアとして認めて救われ、聖霊を受けてからである。避難後、3 年半を待たねばならない。従って、ここに書かれている義人の霊的特徴をイスラエルの人々が信仰生活の中で外側に現すのは、メシアの王国においてである。そのような霊的特徴を現す信者になるよう、神があらかじめ選び、定めておられるのである。
- 高い所に住み、その砦は岩場の上の要害・・・この場所は、イザヤ 34 : 5～8 の預言により、ボツラ（現代の地名は、ペトラ）。セイル山の地域、岩山が続く山岳地帯で、古代のエドムの荒野の中に位置する。
- 彼のパンは備えられ、彼の水は確保される・・・出エジプトのイスラエルが、荒野で主によってマナ（天から降ったパン）と水が与えられて養われたように、ボツラでも 3 年半、イスラエルの民が食糧と水を主から与えられて養われる（ → 黙 12 : 14）

4. イスラエルの回復（33 : 17～24）

イスラエルの人々の平安

17～19 節 あなたの目は美しい王を見、遠くまで広がる国を眺める。あなたの心は、恐ろしかったことを思い巡らす。「数えた者はどこにいるのか。量った者はどこにい

るのか。やぐらを数えた者はどこにいるのか。」あなたはもう横柄な民を見ない。難しく聞き取れない外国語を、口ごもって、わけの分からないことばを話す民を。

- 美しい王・・・メシア
- 数えた者、量った者、やぐらを数えた者、横柄な民・・・反キリスト軍

イスラエルの都、豊かな川の流れ、そして神の法による統治

20～22 節 私たちの祝祭の都、シオンを見よ。あなたの目は、安らかな住まい、移ることのない天幕、エルサレムを見る。その杭はとこしえに抜かれず、その綱は一本も切られない。しかも、そこには威厳ある主が私たちとともにいてくださる。そこには多くの川があり、幅の広い川がある。櫓で漕ぐ舟もそこを通わず、大船もそこを通らない。まことに、主は私たちをさばく方、主は私たちに法を定める方、主は私たちの王、この方が私たちを救われる。

- 櫓で漕ぐ舟・・・水上での戦闘用の軍船
- 大船・・・陸上で戦う兵員や物資を輸送するための軍船
- そこを通らない・・・軍事用の舟は通らない。戦いはなく、平和である。

バビロン陥落の回想

23 節 あなたの帆の綱は解け、帆柱の基に結ぶこともできず、帆を張ることもできない。そのとき、おびただしい数の分捕り物が分けられ、足の萎えた者も獲物をかすめる。

- あなたの帆・・・「あなた」とは、反キリスト。「帆」とは、反キリストとつながる海運事業。「大水の上に座している」（黙 17：1）都と呼ばれるバビロンは、海上輸送の港も近くに持つであろう。反キリストの世界支配を支える物流において、海運は重要な役割を担う。バビロンの陥落によりその海運も大きな打撃を受ける（黙 18：17～19）。バビロンの陥落は反キリスト軍の壊滅に先立って起きる出来事で、そのとき反キリストはバビロンを防衛するために軍を返すことをせず、バビロンをあえて見捨てて、エルサレムを攻撃し、そしてボツラへ進軍することを選ぶであろう。
- 足の萎えた者も・・・バビロンを攻撃する側のどんな弱い者であっても、バビロンの守備隊を打ち負かす。

反キリスト軍が減んだのに対して、イスラエルは平安のうちに住まう

24 節 そこに住む者は「私は病気だ」とは言わず、そこに住む民の咎は除かれる。

- そこに・・・17 節の「遠くまで広がる国」、イスラエルの地。
- 病気だ」とは言わず・・・霊的な病を持つ者は誰もいない。罪の赦しがあるからである。